

鈴鹿市人権擁護に関する審議会 令和 4 年度第 2 回会議 議事概要

【日 時】 令和 5 年 3 月 16 日(木)14:00～16:00

【場 所】 鈴鹿市役所 本館12階 1205会議室

【出席委員】 伊藤 裕, 木ノ内 秀彦, 岩間 啓悟, 安村 とみ子, 喜田 園子, 中野 千鶴子,
吉原 勝範, 南川 久美子(8 名)
(欠席)田中 治尋, 山中 秀志

【事 務 局】 地域振興部長 坂本 悦子
地域振興部次長 竹下 直哉
人権政策課長 谷本 吉隆
人権政策課 副参事兼啓発推進グループリーダー 山中 尚美
人権政策課 啓発推進グループ 岩本 和大
人権政策課 啓発推進グループ 稲垣 萌子

【議事概要】

(事務局)

開会を宣言し, 本日の会議が委員定数の半数以上の出席を得て成立した旨を報告する。

事項 1 開催にあたって

(1) 会長あいさつ

(2) 地域振興部長あいさつ

(事務局)

新任委員の紹介

事項 2 議事

(1) 令和 4 年度人権啓発事業実施状況について

(伊藤会長)

事項書に沿って, 議事を進行する。

まず, 事項 2 議事の(1)令和 4 年度人権啓発事業実施状況について, 事務局から説明願いたい。

(事務局)

事務局資料「令和 4 年度人権啓発事業実施状況」に沿って説明を行う。

(伊藤会長)

事業実施報告を受け, 御意見・御質問をいただきたい。

(吉原委員)

『令和 4 年度人権啓発事業実施状況』の 3 ページ「2022平和への祈り展～セーブ・ザ・チルドレン写真展『紛争下を生きる子どもたち』」の「周知方法 ラジオ広報すずか(suzuka voice

FM78.3MHz)放送」について、過去に、防災に関するセミナーに suzuka voice FM の加藤正彦氏をお招きし、災害に関する活動についてお話いただいたところ、非常に素晴らしい活動をしていることがわかった。このような活動をより多くの市民の方に知ってもらうために、鈴鹿市も、周知のために一方的に suzuka voice FM に依頼をするのではなく、市役所にポスターを掲示する等、その活動を支援する方法を考えた方が良いのではないか。

『令和 4 年度人権啓発事業実施状況』の 7 ページ「じんけんフェスタ in すずか」の「(オ) パネル展示等」について、一点目、「交通防犯課 犯罪被害者等支援について」について、現在、犯罪被害者等の支援を担当しているのは交通防犯課か。また、昨年度、何人の方が相談等で交通防犯課に訪れたか。

二点目、「戸籍住民課 無戸籍者関係」について、鈴鹿市内に無戸籍者として困っている人は何人いるか。

三点目、「障がい福祉課 鈴鹿市手話言語条例の周知啓発」について、鈴鹿市手話言語条例とは、どのような内容の条例か。

『令和 4 年度人権啓発事業実施状況』の13ページ「(4) 人権週間での啓発」の「ア 街頭啓発」について、令和 4 年度第 1 回鈴鹿市人権擁護に関する審議会でも話にあがった、白子駅及び鈴鹿市駅での啓発物品の配布について、どのような感触であったか。

(事務局)

人権政策課が率先して suzuka voice FM を周知するのは難しいが、担当部署があるのでご意見としてお伝えする。

犯罪被害者等支援の担当は交通防犯課である。

犯罪被害者等支援に関する昨年度の相談件数、市内の無戸籍者数及び鈴鹿市手話言語条例の内容については、確認の上、後日お伝えする。

街頭啓発については、比較的早く啓発物品を受け取っていただくことができた。

(中野委員)

令和 4 年度第 1 回人権擁護に関する審議会での意見を汲み、職員研修の資料及び令和 4 年度広報すずか「ひろげよう人権尊重の輪」コラムを、本審議会の事前資料としてくれたことについて感謝する。

人権ふれあい劇場の会場に掲示されていた、外国人の人権に関するポスターについて、内容がごみ捨てに関するものであった。国際交流協会としては「外国人の人権＝ごみの問題」という構図から脱した方が良いのではないかという意見があった。例えば、外国籍の市民が地域のお祭りで、周りの人と一緒におみこしを担いでいるイラスト等、外国籍の市民も地域の担い手として

表現されるような、ポジティブな方向性で取り上げていく方が良いのではないかな。

人権ふれあい劇場で来場者に配布されたアンケート用紙について、親子向けのイベントであるものの、小学校低学年にはアンケートの内容が難しいため、子ども向けのアンケートがあっても良いのではないかなという意見があった。

人権ふれあい劇場で来場者に配布されたクリアファイルについて、クリアファイルの中に入っている資料を取り出すと、イラストにあるクイズの答えが出てくるような形になっており、デザインが良かった。

じんけんフェスタ in すずかの公演会「新ちゃんのお笑い人権高座とゆかいな仲間たち」の露の新治さんの講話について、自分自身のルーツを辿っても、結局自分が何者なのかわからないということに気づかされ、世間の差別的言動等が何の意味もないことであるということを実感させられる内容で、大変素晴らしかった。

また、映画上映会についても、とても良かった。

『令和 4 年度人権啓発事業実施状況』の12ページ「オ その他」の「(ア) 学校等での啓発」について、去年よりも比較的多くの生徒の方にパネルを鑑賞していただけたのか。

アンケートの結果から、関心が高い人権課題等があったか。

アンケートの結果を踏まえ、関心の高かった人権課題について焦点を当てる等、アンケートの結果を反映させた事業構成を考えていくのが良いのではないかな。

『職員研修資料』の「令和 4 年度新規採用職員研修～近年の社会動向に見る人権～」のスライド 7 ページ「ドラまちック～まちの中から人権について考えてみよう～」について、このイラストをもとに何を教えるのか。

(事務局)

「学校等でのパネル展示」について、今年度は男女共同参画課と共同で開催し、例年よりパネルの内容を充実させたこともあり、実施して 3 年目になるが、過去 3 年のうち一番数多くの方に見ていただけた。

アンケートの結果からは、インターネット、性的少数者及び外国人に関する人権への関心が高かった。

「ドラまちック～まちの中から人権について考えてみよう～」という街の様子を描いたイラストの中には、白杖をついて歩いている人がいるが道路には点字ブロックがない、不動産会社に「外国人入居不可」という文字がある等、人権的に見て問題を感じる点をグループで話し合い、どのような人権課題があるかということ、ワークを通して職員に理解してもらう内容となっている。

(喜田委員)

『令和 4 年度人権啓発事業実施状況』の 6 ページ「ウ じんけんフェスタ in すずか」の「(エ) 人権を考える市民のつどい『映画上映会』」来場者:75人について、実際に私が参加した際に、もっと多くの方が参加しているように感じたが、75人しか来場しなかったのか。

人権ふれあい劇場について、市は色々な関係機関が関わっているので難しいかもしれないが、せっかく質の高い公演をしているのだから、子ども世代の来場者を増やすために、市内の各小学校をグループに分けて来場してもらう、学校での行事に人権政策課の事業を取り入れてもらう等の手段を取ることができないものなのだろうかと思う。

令和 4 年11月 4 日(金)に実施された箕田地区人権尊重まちづくり講演会を見学させていただいたが、その際も参加者数が少なく、残念であった。単に「人権」という言葉をもって講演を行うのではなく、読み聞かせを通して物語の中から人権について考えられるというのはとても大切なことであるので、めげずにやってほしい。

(事務局)

感染拡大防止の観点から、申込者には座席指定券を配布しており、チケットの配布数から、人権を考える市民のつどいの来場者は、75人であった。

(伊藤会長)

『令和 4 年度人権啓発事業実施状況』の 3 ページ「2022平和への祈り展～セーブ・ザ・チルドレン写真展『紛争下を生きる子どもたち』」の「周知方法 市内小中学校全児童・生徒にチラシ配布」について、この成果が、小中学生の参加率が高くなったことの要因なのか。

昨年と比較し、高校生の来場者数が減っていたことについて、高校生の来場者の実数はいくつか。

高校生にもチラシを配布すれば、高校生の参加率が上がるのではないか。

(事務局)

事務局としては、市内小中学校全児童・生徒にチラシを配布したことが、小中学生の参加率の増加の要因となったと認識している。

高校生の来場者の実数は 1 で、毎年、各高校にチラシを配布しているものの、他のイベントも含め高校生の来場者数が伸びないことが実情で、各高校の人権担当の教職員の方と情報共有をしながら今後の周知について検討したい。

(吉原委員)

7 月に「一人ひとりの優しさで 平和をねがう まちづくり」という標語の懸垂幕を掲出することについて、令和 4 年度第 1 回人権擁護に関する審議会で、田中副会長が「『優しさで』という表現よりももっとスカッとくるような表現が良いのではないか」という発言をされたが、令和 5 年 7

月に掲出する懸垂幕は、同じ標語のものを掲出するのか。

もし、標語を変更しないのであれば、次回の審議会で標語に関するテーマを取り上げていただきたい。

(事務局)

令和 5 年度についても、令和 4 年度のものと同様の標語の懸垂幕を掲出予定としている。

おわり

事項 3 その他

(1) 令和 5 年度第 1 回審議会の日程について

(事務局)

令和 5 年度第 1 回審議会について、5 月の 4 日間を候補日とし、後日改めて日程調整をする。

(議長)

以上をもって本日の議事は終了とする。

地域振興部次長の閉会のあいさつ